

第8期決算説明会資料

2004年5月21日

ジグノシステムジャパン株式会社

1. 会社概要

商号

ジグノシステムジャパン株式会社

設立

1996年12月

決算期

3月

資本金

1,126百万円(2004年3月末現在)

本社

東京都千代田区六番町3番地

代表者

代表取締役社長 飯田 桂子

従業員総数

81名

ジグノシステムアメリカ 6名

ジグノシステムヨーロッパ 5名

第8期(2004年3月期)業績 < 単体 >

(単位: 百万円)

	第7期(03.3期)	構成比	第8期(04.3期)	構成比	前年 同期比
売上高	5,505	100%	5,002	100%	91%
売上総利益	2,256	41%	2,060	41%	91%
販売費および 一般管理費	1,023	19%	974	19%	95%
営業利益	1,233	22%	1,085	22%	88%
経常利益	1,233	22%	1,085	22%	88%

2. 決算概要 < 単体 >

貸借対照表 < 単体 >

(単位:百万円)

	前期末 (03.3期)	第8期 (04.3期)末		前期末 (03.3期)	第8期 (04.3期)末
流動資産計	4,124	3,955	流動負債計	1,467	1,030
現金・預金	2,431	2,589	買掛金	820	652
売掛金	1,582	1,295	未払金	159	132
その他	111	71	その他	487	246
			固定負債計		318
			繰延税金負債	-	318
固定資産計	457	1,562	負債計	1,467	1,349
有形資産	126	143			
無形資産	32	55	資本計	3,115	4,169
投資その他	298	1,364			
資産合計	4,582	5,518	負債資本計	4,582	5,518

2. 決算概要 < 単体 >

キャッシュ・フロー < 単体 >

(単位:百万円)

	第7期(03.3期) 通期(単体)	第8期(04.3期) 通期(単体)
営業収入	5,252	5,206
営業支出	4,112	3,965
法人税等の支出	544	650
営業活動によるC / F計	596	590
投資活動によるC / F計	346	1,199
財務活動によるC / F計	23	32
現金の増加額	225	641
期首残高	2,205	2,431
期末残高	2,431	1,789

投資活動によるC/F計の内、800百万円は3ヶ月を超える定期預金への預け入れとなっております。

2. 決算概要 < 連結 >

第8期(2004年3月期)業績 < 連結 >

(単位:百万円)

	第7期(03.3期)	構成比	第8期(04.3期)	構成比	前年同期比
売上高	5,505	100%	5,002	100%	91%
売上総利益	2,256	41%	2,060	41%	91%
販売費および 一般管理費	1,023	19%	978	20%	96%
営業利益	1,233	22%	1,081	22%	88%
経常利益	1,233	22%	1,051	21%	85%

当連結会計年度は連結適用初年度にあたるため前年度の単体実績との比較になります。

2. 決算概要 < 連結 >

貸借対照表 < 連結 >

(単位:百万円)

	前期末 (03.3期)	第8期 (04.3期)末		前期末 (03.3期)	第8期 (04.3期)末
流動資産計	4,124	4,051	流動負債計	1,467	1,031
現金・預金	2,431	2,685	買掛金	820	652
売掛金	1,582	1,295	未払金	159	133
その他	111	70	その他	487	244
			固定負債計		318
			繰延税金負債	-	318
固定資産計	457	1,431	負債計	1,467	1,350
有形資産	126	143			
無形資産	32	55	資本計	3,115	4,133
投資その他	298	1232			
資産合計	4,582	5,483	負債資本計	4,582	5,483

当連結会計年度は連結適用初年度にあたるため前年度の単体実績との比較になります。

2. 決算概要 < 連結 >

キャッシュ・フロー < 連結 >

(単位:百万円)

	第7期(03.3期) 通期(単体)	第8期(04.3期) 通期(連結)
営業収入	5,252	5,206
営業支出	4,112	3,968
法人税等の支出	544	650
営業活動によるC / F計	596	586
投資活動によるC / F計	346	1,100
財務活動によるC / F計	23	32
現金の増加額	225	545
期首残高	2,205	2,431
期末残高	2,431	1,885

投資活動によるC/F計の内、800百万円は3ヶ月を超える定期預金への預け入れとなっております。
当連結会計年度は連結適用初年度にあたるため前年度の単体実績との比較になります。

第8期(2004年3月期)セグメント別売上高<単体・連結>

(単位:百万円)

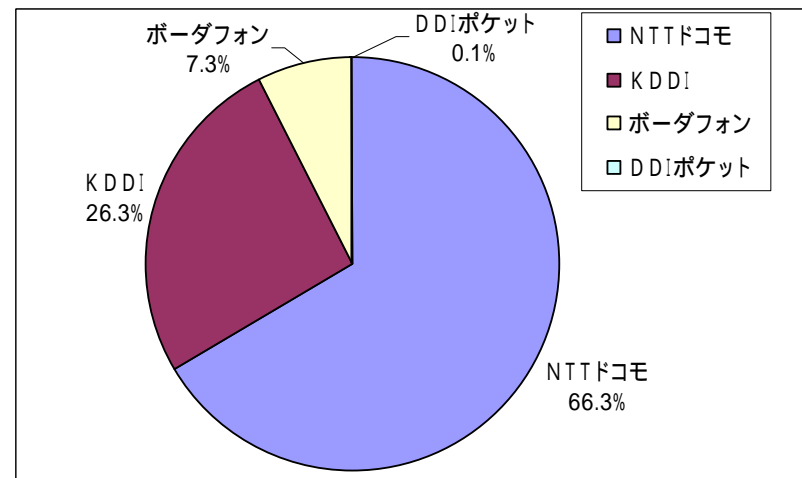
		第7期(03.3期)	構成比	第8期(04.3期)	構成比	前年 同期比
インフォメーションプロバイダー事業	国内	5,390	98%	4,755	95%	88%
	海外	17	0%	45	1%	261%
システムソリューション事業		97	2%	201	4%	206%
合計		5,505	100%	5,002	100%	91%

当連結会計年度は連結適用初年度にあたるため前年度の単体実績との比較になります。

国内キャリア別サイト数(04年3月末現在) 自社運営サイトのみ

	前期末	当期末	増減
NTTドコモ	14	15	+1
KDDI	16	18	+2
ボーダフォン	4	10	+6
DDIポケット	1	1	0
合計	35	44	+9

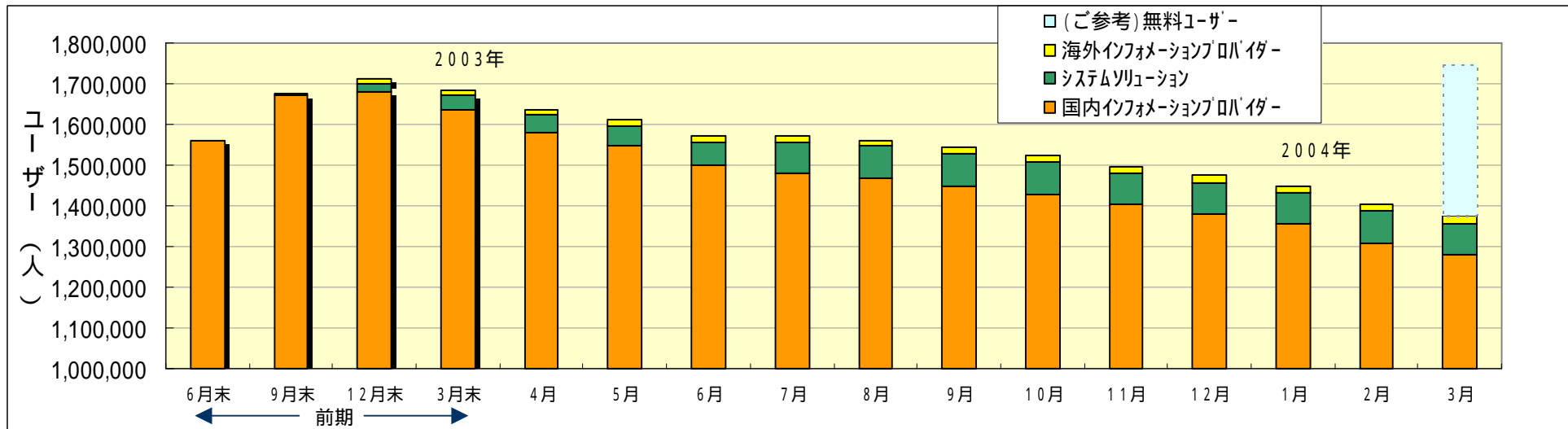
国内キャリア別ユーザー数(04年3月末時点)
自社運営有料サイトユーザーのみ



ユーザー数推移

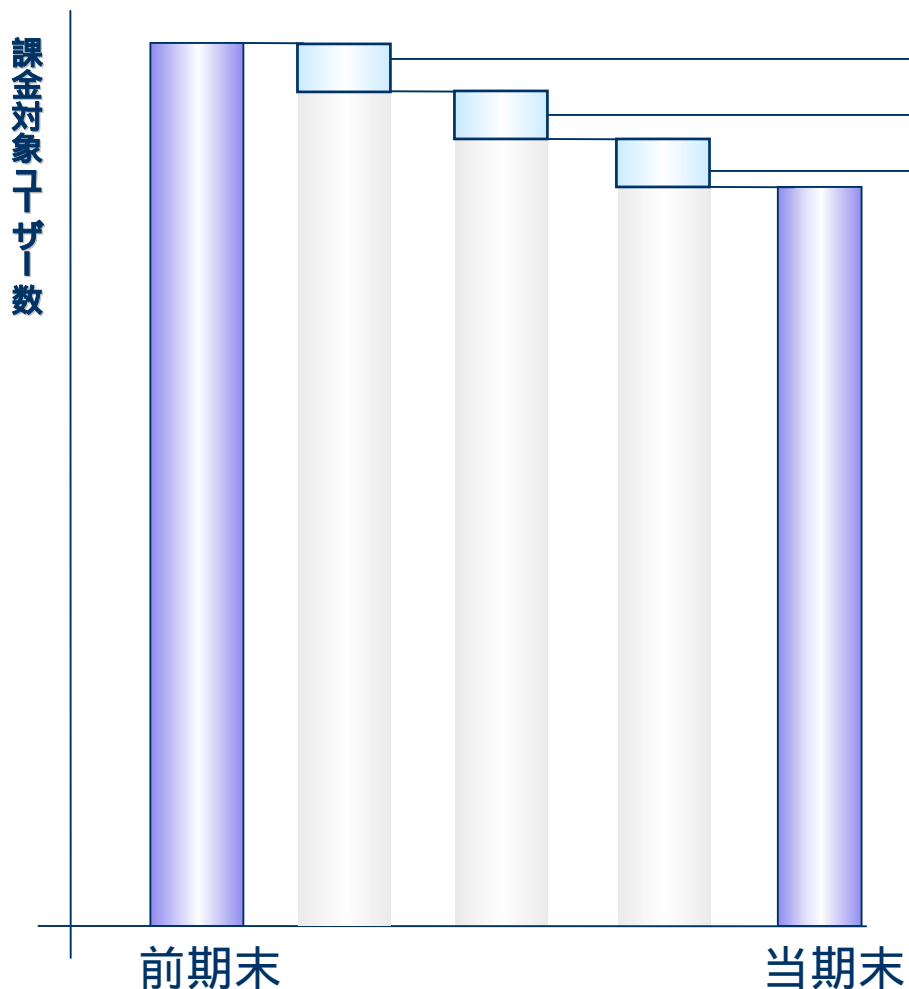
国内課金対象ユーザー数128万人(2004年3月末時点)

ご参考 海外ユーザー数1.7万人
システムソリューションユーザー数7.7万人
無料サイトユーザー数37.2万人



ダウンロードユーザーは含まず

ユーザー数減少の要因



サイト数増加による競争の激化

- サイト数の増加

例: グラビアサイト iモード : 30 サイト
 au : 109 サイト

(2004年5月20日時点)

- 第三代携帯電話登場による既存サイトの過渡期化

大容量コンテンツ化によるパケット代金の増大

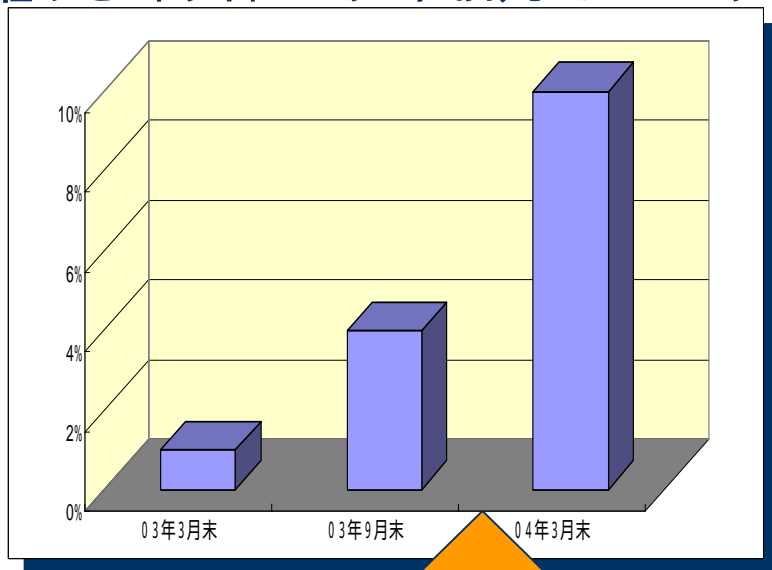
- Flash対応、iアプリ、1ページあたりの容量拡大により、パケット量が増加し、ユーザーの負担額の増加

504シリーズ: 待受画面1ページあたり 10Kバイト 24円
 505シリーズ: 待受画面1ページあたり 20Kバイト 48円

自社サイトのプロモーション不足

FOMAをはじめとする第三代携帯電話の普及

当社のiモードサイトユーザーにおけるFOMAユーザー構成比の推移



FOMA 900iシリーズ発売

NTTドコモ、KDDIのポケット定額制開始

第三代携帯電話の普及

2005年3月時点でFOMA1060万契約予測
(NTTドコモ資料より)各社のポケット通信料定額性導入により、ユーザーのトラフィック増大、
ハイクオリティコンテンツ利用頻度が上がることが予想される。

当社にとってのビジネスチャンス拡大

高機能化

高速化

パケット代低下

パケット定額制による

当社の強みであるハイクオリティコンテンツの企画・開発・制作ノウハウが競争力を高める。

当期の当社取り組み実績

着モーション(動画配信)

大容量Flash

高機能アプリ

大画面液晶、高精画像

高機能メール

高画素カメラ付き携帯向けサービス

3. 営業概要 海外事業(1)

- ◆ サイト数: 9
- ◆ 対応キャリア数: 8
- ◆ 売上高: 45百万円
(04年3月末現在)

8カ国、7言語でサービス体制を確立

-  英語
-  北京語
-  フランス語
-  日本語
-  ドイツ語
-  イタリア語 2004年5月スタート
-  スペイン語
-  ギリシア語 2004年5月スタート
-  オランダ語

海外国別/キャリア別サイト数(04年3月末現在)

国名	展開キャリア	サイト数		
		前期末	当期末	増減
ドイツ	Eプラス	1	1	0
オランダ	KPNモバイル	1	1	0
ベルギー	BASE	1	1	0
フランス	ブイグテレコム	1	1	0
スペイン	テレフォニカ	-	1	+1
台湾	KGテレコム、ファーイーストーン	2	2	0
アメリカ	AT&Tワイヤレス	-	2	+2
合計		6	9	+3



2004年5月中に10カ国、9言語のサービス提供へ

国内ビジネスで培った人材・ノウハウを海外事業に活用

多国、多言語、多キャリアに渡る
グローバルな配信チャネルの確立



有料ユーザー数の確保



開発・オペレーションコストの効率化

グローバルにコンテンツ(ライセンス)
を管理する体制を確立



前渡金などのリスクを低減



ライセンス料などの仕入コスト低減

米国市場

主要米国キャリア	データ通信契約者数 (千人)	回線契約数に占める データ通信契約割合
Sprint PCS	4,600	30.0%
Nextel Partners	242	23.0%
Cingular Wireless	5,000	22.0%
Nextel	2,525	22.0%
Alamosa PCS	102	15.0%
Airgate PCS	51	14.0%
AT&T Wireless	1,601	7.0%
Verison Wireless	1,731	5.0%
Triton PCS	26	3.0%
Total	-	12.0%

Data source: 2Q2003 Wireless Industry Scorecard
Legg Mason Wood Walker, Inc.

**2007年には売上の60%近くに
データ通信に増加する見込み**

(Telecompetition Worldwide Mobility Report 2001より)

欧州市場

欧州におけるiモードユーザー数



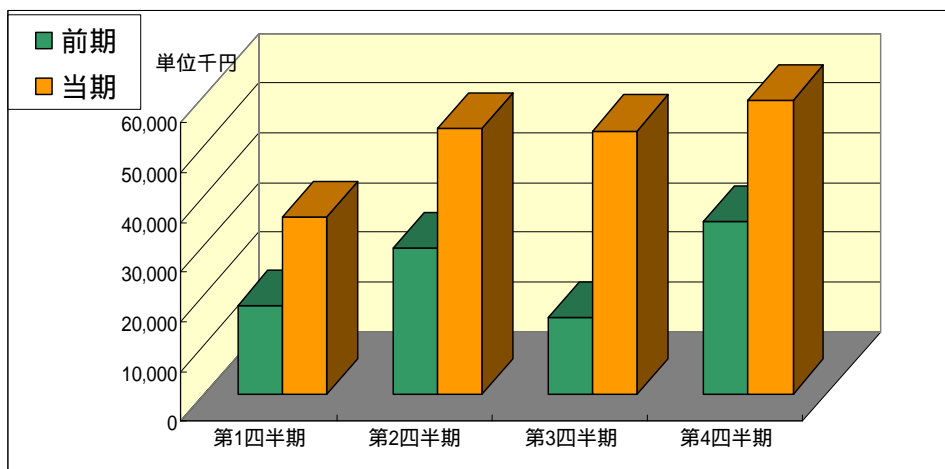
**欧州におけるiモードユーザー数
の急速な増加**

当期の取り組み

企画・開発・制作・運営の総合力を活かした
ソリューションビジネスを強化



システムソリューション事業売上高推移



- ⊕ 新サービス対応により高付加価値サービスを提供
- ⊕ マーケティング分析
- ⊕ ビジネスモデルの多様化

今後もさらに進化する機能や
マルチメディア化に対応した
新しいソリューションを提案

3. 営業概要 その他の事業展開(1)

当期の取り組み **モバイルコマース**

本格的にモバイルコマース市場参入へ

■ギズモプリュス(持分法適用連結子会社)



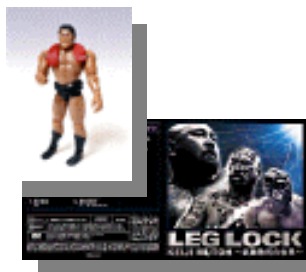
〈VILLAGE/VANGUARD Mobile
(ヴィレッジヴァンガードモバイル)〉
当サイトは
「ケータイサイトオブザイヤー2003」の
“ショッピング部門”第1位サイトに
選ばれました。

〈SHOP@ぎずもびっ!〉

〈Girls' Wish!〉

〈ペット@ぎずもびっ!〉

■既存運営サイト内でのコマース強化



〈プロレス/格闘技DX〉
フィギュア、チケット、パンフレット、
DVD、限定グッズ等

(単位:億円)	2001年	2006年
エンターテインメント	860.4	4,631.8
旅行	120.5	7,611.7
書籍・音楽	49.4	2,170.1
食料品	0.0	1,425.2
衣類・アクセサリ	30.1	1,328.0
趣味・雑貨・家具	25.3	1,068.9
ギフト商品	0.0	162.0
その他物販	34.9	1,619.5
自動車	0.0	1,230.8
各種サービス	25.3	8,518.6
金融	39.8	1,813.8
PC及び関連商品	19.3	680.2
不動産	0.0	129.6
計	1,205.0	32,390.0

出典:経済産業省「平成13年度電子商取引に関する市場規模・実態調査」より

2006年モバイルBtoC市場においては、モバイルコマースが
7000億円を越える市場規模に拡大することが予想される。

身近で便利に利用されるサービスへ

3. 営業概要 その他の事業展開(2)

当期の取り組み **フォト関連事業**

カメラ付き携帯の高画素化や、インフラ向上により
創業以来培った技術ノウハウを活かしてさまざまな
カメラ付き携帯電話向けサービスを準備

各種アウトプットサービス

- 「プリント@パレットプラザ」(EZweb)
 (“クロネコフォトメール便”対応、“ケータイでお買い物<au課金代行>”対応)
- 「デジタルアルバム」(EZweb)
- 「ローソンプリント」(iモード、EZweb)

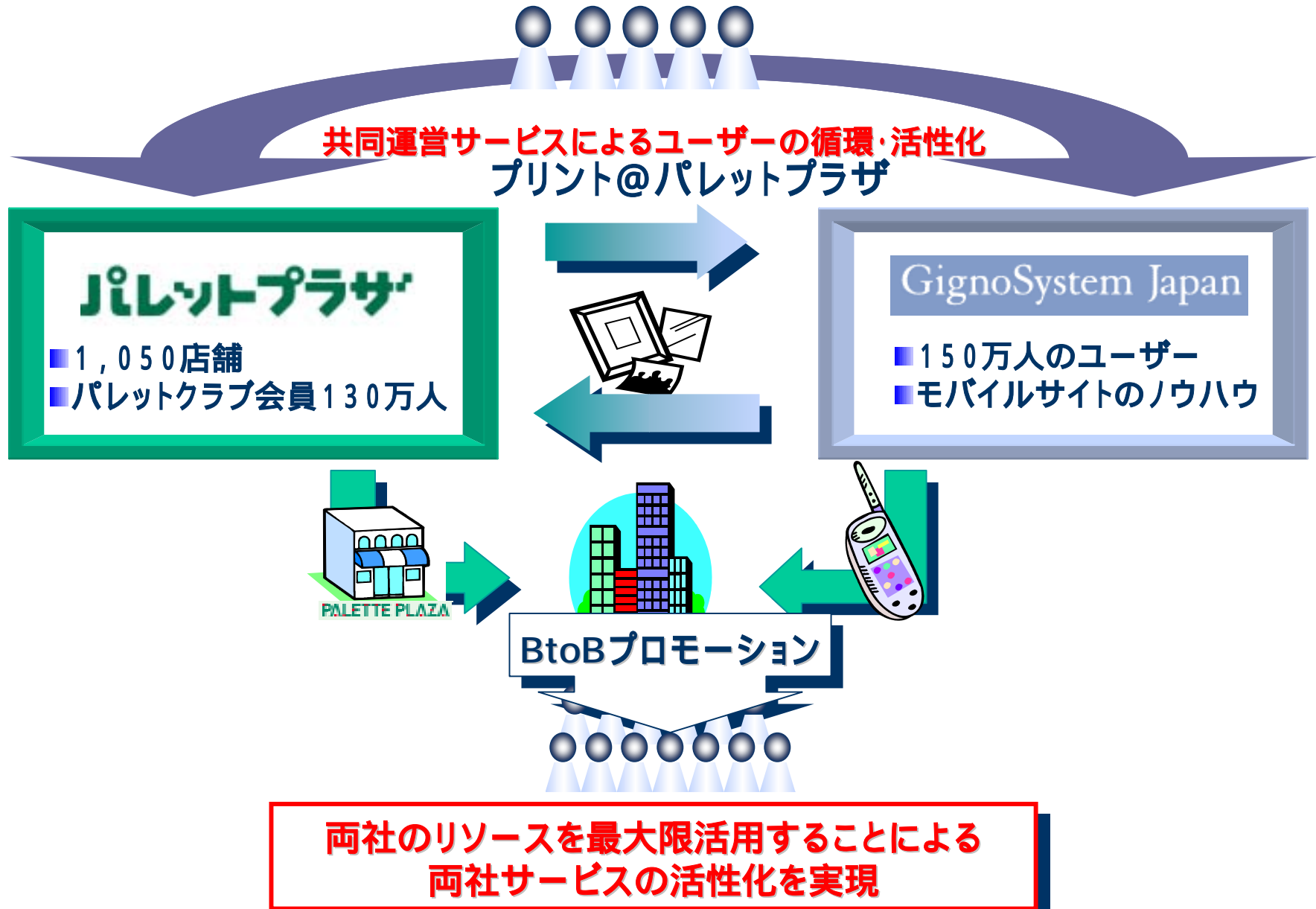
今後は

パケット通信費値下げ

課金・決済の多様化

ますます便利に活用されるサービスへ





4. 業績予想 < 連結 >

第9期(2005年3月期)業績(連結)

	中間期		通期	
	金額	比率	金額	比率
売上高	2,220	100%	5,600	100%
経常利益	360	16%	1,240	22%
当期純利益	200	9%	710	13%

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

4. 業績予想 < 単体 >

第9期(2005年3月期)業績(単体)

	中間期		通期	
売上高	2,220	100%	5,200	100%
経常利益	420	19%	1,140	22%
当期純利益	240	11%	650	13%

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。